

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (304), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (306), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed data table for budget, personnel, and performance.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (307), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for 2021-2023.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a summary of findings and future directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	308	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	ごみ集積所の設置事業		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.75人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	6,675千円 (うち人件費 6,675千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 一般廃棄物対策基本計画		
(2) 目的	施策目的・展開方向	資源を大切に、資源の循環を進める暮らしを実現するため、市民、事業者、市が一体となって、総ごみ排出量の削減と福島第一原発事故以前の全国トップレベルの資源化率を回復するとともに、新たな廃棄物処理施設の整備に合わせた効果的なごみと資源の分別の研究などに取り組み、ごみの発生抑制を軸と			事業目的	生活上必要なごみ集積所を適正に設置することで、市民の良好な生活環境を確保する。						
(3) 事業内容	内容	資源を大切に、資源の循環を進める暮らしを実現するため、市民、事業者、市が一体となって、総ごみ排出量の削減と福島第一原発事故以前の全国トップレベルの資源化率を回復するとともに、新たな廃棄物処理施設の整備に合わせた効果的なごみと資源の分別の研究などに取り組み、ごみの発生抑制を軸と			当該年度執行計画	・随時〔ごみ集積所設置事前協議〕受付から立会い検査、収集開始まで随時実施する。ごみ集積所の土地の寄附(受付・登記)						
		①下協議→②事前協議申請(可否決定)→③集積所立会い検査→④設置申請受理→⑤可燃ごみ・資源収集開始依頼。 ・必要に応じ寄附の受理			当該年度活動結果指標	立会い検査実施件数	単位	件	想定値	35		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	協議どおりの適正な集積所の確保				直接	検査合格率		%	100	100		
令和4年度	協議どおりの適正な集積所の確保				直接	検査合格率		%		100		
令和5年度	協議どおりの適正な集積所の確保				直接	検査合格率		%		100		
(7) 事業実施上の課題と対応	開発、建築により新たに建設される住宅については、ごみ集積所設置基準を適用できるが、集積所の5割弱を占める路上の集積所について、今後の恒久的確保のための検討が必要。なお、本件事業は独自の予算を持たないため、【可燃ごみ・粗大ごみ収集事業】に統合したい。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			車両経費	612		ごみ集積所の設置協議		0				
			合計	612		合計	0	0			合計	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源			612			0			0		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	□特会 □受益 □基金 □その他		0	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.7		0.75	0.75		0.7		0.7		
	正職員人件費		6,090		6,675	6,675		6,230		6,230		
	嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0	0		0		0		
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		6,702		6,675	6,675		6,230		6,230		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		191.49千円/件		190.71千円/件		256.73						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	ごみ集積所は、いわば迷惑施設であり誰もが自宅近くの設置を嫌がる。しかし、ごみ集積所は、家庭から排出される一般廃棄物の処理に当たり、その適正化、効率化のためにはなくてはならないものである。 ・路上の集積所は火災危険を伴うものであり、危険な集積所を増やさないため、建築事業者に対し適正なごみ集積所の確保と周辺住民への環境も配慮するよう指導する。 ・当該事業は、恒久的なごみ集積所を確保するためにも必要な事業である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 適正な集積所の確保は、ごみと資源の収集に不可欠であるため。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>			
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要	
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 慎重に審査し、全ての集積所が基準に適合することを確認した。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	6,675	27	<削減の内容>		6,675	100	<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	1.5		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
					1.5	100			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (310), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget table for fiscal years 2022-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (311), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown by year (2020-2024).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向. Includes a summary of findings and future improvement strategies.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (312), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, budget, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and evaluation comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (314), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, goals, and financials.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (315), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) with columns for 評価項目, 事前評価, 事後評価, and 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table (3. 事後評価) with columns for 評価項目, 評価コメント, and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	316	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業 不法投棄防止対策事業	実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター							
	③事業主体	<input checked="" type="radio"/> 市 <input type="radio"/> その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市									
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	6人 (換算人数)		0.7人							
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	8,041千円 (うち人件費 6,230千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)	一般廃棄物対策基本計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体と連携し、早期発見・早期回収することで不法投棄を未然に防止する。市民、環境美化推進委員や不法投棄監視員からの情報及び通報には即応するとともに、投棄現場の地権者には再発防止対策等を促し、不法投棄防止についての協力を求めていく。また、産廃については県の管理下にあり、保管場所等で疑わしい場所は大規模な不法投棄に発展しないよう県との連絡を密にし、未然防止を図る。			事業目的	不法投棄や野焼きを未然に防止するため、パトロールの強化などにより市民の快適な生活環境を確保する。								
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	(不法投棄) 随時 重点地区パトロール、不法投棄ごみ回収 野焼き指導、 6月 県下一斉産廃パトロール (令和2年度はコロナ感染拡大予防のため実施しない) 12月 手賀沼ふれあい清掃の回収 12月 年末夜間パトロール								
					当該年度活動結果指標	パトロール稼働日数	単位	回	想定値	12				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	不法投棄パトロールの強化、防止対策の強化により再発件数や回収量を減らす。				直接	不法投棄回収量		t	4.48	5				
令和4年度	同上				直接	同上		t		5				
令和5年度	同上				直接	同上		t		5				
(7) 事業実施上の課題と対応	不法投棄は夜間に多発しており、夜間パトロールも必要である。また、地権者が遠方などの理由のため再発防止対策が進まない。公共用地の不法投棄防止策について、未だにごみはクリーンセンターへという認識が大きいため粘り強く所管課に協力を求めることが重要。夜間パトロールを行う体制を確立する必要がある。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			消耗品(看板、他)	300	消耗品(看板、他)	144	55	消耗品(看板、他)	144	消耗品(看板、他)	144			
			不法投棄撤去委託料・消火器処分手数料	534	不法投棄撤去委託料・手数料	733	355	不法投棄撤去委託料・手数料	733	不法投棄撤去委託料・手数料	733			
			車両維持費	235	燃料費(車両)	370	91	燃料費(車両)	370	燃料費(車両)	370			
	消火器処分手数料	25	修繕料(車両)	371	329	修繕料(車両)	371	修繕料(車両)	371					
			手数料(車両)	112	97	手数料(車両)	112	手数料(車両)	112					
			自動車損害保険料	36	34	自動車損害保険料	36	自動車損害保険料	36					
			自動車重量税	45	45	自動車重量税	45	自動車重量税	45					
	予算(決算)額	合計	1,094	合計	1,811	合計	1,811	合計	1,811					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0				
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0				
	一般財源			1,094			1,811			1,811				
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他				
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.6		0.7		0.6		0.6						
	正職員人件費	5,220		6,230		5,340		5,340						
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0						
	臨時職員賃金額	0		0		0		0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	6,314		8,041		7,236		7,151							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	63.14千円/回		670.08千円/回		603									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市民の快適な生活環境を確保するとともに環境美化の推進を図る。近年、我孫子市においても一般廃棄物(廃家電、タンス類等)少量の不法投棄が増加の傾向にある。監視、指導体制を強化することにより、不法投棄の拡大を抑制する。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 不法投棄対策は、必要不可欠なため。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 市が実施すべき事務であるため。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	●①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		市民の通報を呼びかけている。		市民からの通報が寄せられた。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	○①自然環境を生かしている ○②生き物と共存している ○③手賀沼を意識している ○④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				該当なし		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(t)	目標値(b)(t)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	4.48	5	○①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない ○③現況値との差が小さい値ではない ○④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(t)	達成率(%) (b/f×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 不法投棄対策により、不法投棄量が減った。		
					4.48	111.61			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	○①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 ○③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 ○④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	8,041	△1,727	<削減の内容>		7,236	89.99	<超過理由等> 経費削減に努めた。		
	事業費削減率(%)								
	△27.35								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.06	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (e/h)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		t	10万円		0.06	100			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)					評価コメント				
事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					改善策及び展開方向 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (317), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes for assessment.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for final assessment and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (318), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main evaluation table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and a multi-year budget table (2022-2025).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Table with columns: 事業コード (319), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし). Section 1: 事業の概要 (PLAN) includes ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Rows include: (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, (1) 目標設定は適切か?, (2) 事業費削減の工夫をしてるか?, (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Table with columns: 現状, 評価コメント, 改善策及び展開方向. 現状: 現状どおり推進. 評価コメント: クリーンセンターは稼働から45年以上が経過し、老朽化による故障リスクや維持管理費用が増大しているため、新廃棄物処理施設の建設は急務であり、引き続き推進していく。なお、令和4年度からは、事務事業名を「新クリーンセンターの整備・運営」とする。

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (320), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a comment on the evaluation and future improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	321	課コード	0402	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	高齢者ごみ出し支援ふれあい収集事業		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・クリーンセンター	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	平成14年度 ~			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.7人		
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	12,960千円 (うち人件費 6,230千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	一般廃棄物対策基本計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	高齢者が住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるよう、身近な場所で必要なサービスを利用できる環境をつくります。また、高齢者の介護や生活を地域で支えられるよう、地域住民による見守りネットワークや新聞、郵便、宅配等の民間事業所との連携による見守り体制（地域高齢者安心ネットワーク）の構築が困難なひとり暮らしの高齢者や身障者などを対象に家庭ごみ、資源、雑芥ごみを声掛けを行いながら戸別収集する。また、収集業務を適正に遂行できる業者を選定し委託により実施する。			事業目的	・ひとり暮らしの高齢者や障害者などのごみ出しの負担を軽減し、自宅での生活を支援する。				
(3) 事業内容	内容	① 申し出：希望者は電話やFAXなどでクリーンセンターに申し出る。 ② 面談調査：担当者は、日程調整の上希望者と面談し、ごみ出しの状態や収集に関する要望を確認する。 ③ 審査、通知：面談の結果により可否を決定し、その旨を希望者に通知する。 ④ 収集の開始 ◎集積所違反排出物回収業務 ① 集積所に排出されたごみや資源に注意シールを貼られて3~4週間を経過した排出物の回収をする。			当該年度執行計画	・申込み受付及び面談、可否決定、通知等随時 ・新規申し込み等業者に収集依頼 ・業者との連絡調整				
		当該年度活動結果指標	新規利用件数	単位	件	想定値	44	実績値	72	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	必要な人に適正に利用してもらう				間接	適正な審査に基づく決定率		%	100	100
令和4年度	必要な人に適正に利用してもらう				間接	適正な審査に基づく決定率		%		100
令和5年度	必要な人に適正に利用してもらう				間接	適正な審査に基づく決定率		%		100
(7) 事業実施上の課題と対応	今後、事業の対象者数の増加が見込まれる。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		ふれあい収集委託料【債務負担】H29~H33 消耗品・他 車輦経費	6,725 117 611	ふれあい収集委託料【債務負担】H29~H33 消耗品	6,725 5	ふれあい収集委託料【債務負担】R4~R8 消耗品	6,725 5	ふれあい収集委託料【債務負担】R4~R8 消耗品	6,725 5	
		予算(決算)額	合計	7,453	合計	6,730	合計	6,730	合計	6,730
		補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
一般財源	7,453	6,730	6,730	6,730	6,730	6,730	6,730	6,730		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7		
正職員人件費	6,090	6,230	6,230	6,230	6,230	6,230	6,230	6,230		
嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0	0	0	0		
臨時職員賃金額	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	13,543	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960	12,960		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	307.8千円/件		294.55千円/件		180					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	本市の高齢化率は平成26年4月の26.5%から将来的には32%に上昇すると見込まれ、合わせて核家族化も進むと思われる。高齢者にとって可燃ごみや10種16品目に及ぶ資源を分別し集積所まで運ぶことは、介護サービスではまかなえない範囲であり、介護認定者以外の身体の不自由な人は、ごみ出しのために経済的負担を強いられていることとなる。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
	本事業は、より横断的に対応するため、単なる高齢者社会福祉として位置付けるのではなく、障害者や怪我人及び妊婦などの一時的に身体の不自由な人まで対象を広げることで、多くの人のごみ出しの負担を軽減し、在宅で生活する上での				<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 集積所へごみを排出できない市民のために、必要不可欠な事務であるため。				
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ■②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他				○要 ●不要
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<その他の内容>				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				○要 ●不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり) ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他				該当なし				
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他				環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 適正に審査して利用者を決定したため。		
	100	100			100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 ■④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	12,960	583	<削減の内容>		12,960	100	<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.77		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	集積所へごみを排出できない市民のために、引き続き必要不可欠な事務であるため。	改善策及び展開方向
----	--	-----------

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (322), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (323), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1938), 課コード (0402), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策), 実施状況 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, citizen participation, and environmental impact.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進) and a comment field.